

第 82 期中間報告書

証券コード 6246

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

Contents

■ Top Message	1～2
■ 事業の概況	3～4
■ 事業紹介	5～6
■ 業績の概況	7～8
■ 株式の状況	9
■ 会社概要	10

株式会社 テクノスマート



株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第82期（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国経済では雇用の回復が見られ、消費もほぼ堅調に推移いたしましたが、中国をはじめとするアジア新興国の景気減速や欧州経済の先行きに対する不透明感など、下振れへの懸念が拭えない状況で推移いたしました。国内経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、中国の景気減速の影響で企業の業績に不透明感が懸念されるようになりました。

このような状況下において、光学系フィルム業界では、新規投資を進める企業と規模の縮小や委託加工に方向を変える企業など二極化の傾向も一部で見られました。当社においては、スマートフォンやタブレット端末用として光学フィルムやタッチパネル用塗工装置、医療材用塗工乾燥装置、自動車用リチウムイオン二次電池や他のエネルギー関連および電子部品関連塗工乾燥装置の受注強化に取り組んでまいりました。しかしながら、国内および中国におけ

る光学系フィルム塗工装置業界では、大型設備投資が減少し、受注環境に大きな伸びがない状況で推移いたしました。

昨年同期と比較し、売上高、営業利益、純利益とも減少いたしましたが、受注高および受注残高は増加しております。個別の受注金額は、中国市場など新興国を最終需要先とした国内企業をはじめ、韓国や中国企業向けでも、国内外の設備メーカーの価格競争は大変厳しいものとなっております。しかしながら、最近の中国における液晶パネルの大幅増産の見通しにより、光学フィルム関連塗工装置の需要が見込まれ、当業界向けの受注活動の強化に努めたいと考えております。今後は、光学フィルム関連と合わせて、二次電池や燃料電池などのエネルギー関連業界に対し、更なる販売強化に取り組みたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月

Changing Life with Coating Technology

「塗工技術で生活に変化を」

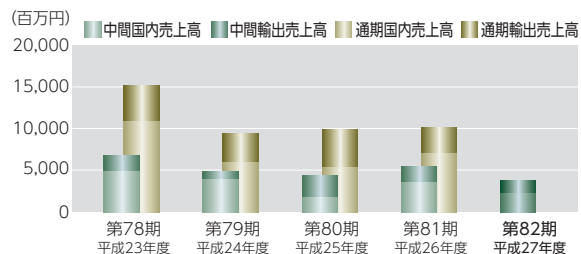
私たち『株式会社テクノスマート』は、「塗工」・「乾燥」で世界の人々に貢献できる企業を目指します。

代表取締役社長

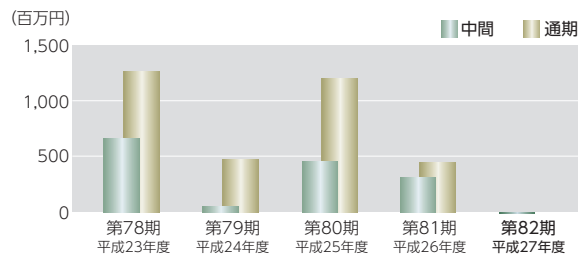
高 橋 進



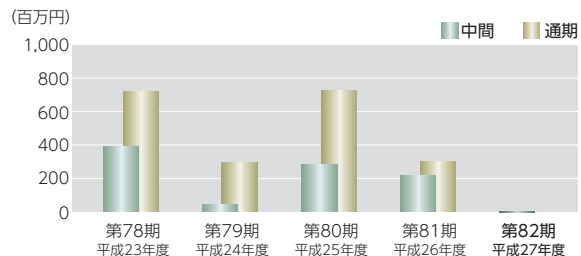
国内売上高・輸出売上高



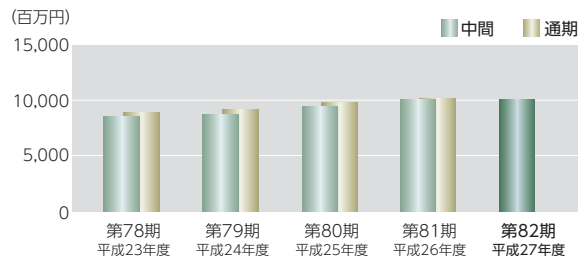
営業利益



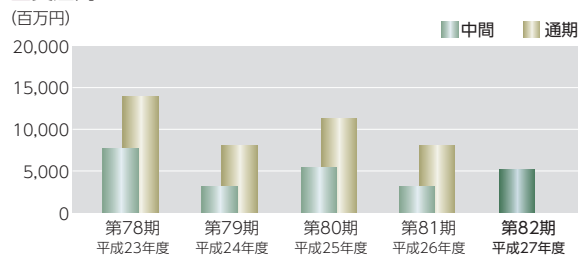
当期純利益



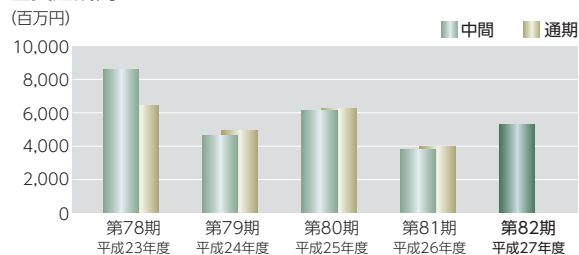
純資産額



受注高



受注残高



平成28年3月期 業績予想

売上高 **9,500** 百万円

営業利益

50 百万円

当期純利益

50 百万円

これからも生産技術の ベストソリューションを 提案してまいります。

産業社会の発展に伴う多種多様なニーズに対し、営業、実験・開発、設計、製造グループといった総合的なサポート体制で臨み、着実に成長を遂げてまいりました。

〔 経 営 理 念 〕

誠実

真心をこめて一流の製品を作り、お客様の発展を地域への貢献ならびに我々社員の幸せの為に献身しよう。

行動

全社員の英知と総力を結集し世界的な会社の創造に邁進しよう。

転回

常に開拓者精神を培い、いかなる時勢の試練にも冷静かつ進取不屈の精神で事業永遠の繁栄に努力しよう。

経 営 理 念

環 境 理 念

独 自 理 念

〔 環 境 理 念 〕

地球環境の保全が将来にわたり重要な課題であることを認識し、企業活動のあらゆる側面において社員一人一人が、環境汚染の予防、環境保全に配慮しながら事業活動を推進する。

基本 方針

- 環境保全に関する意識向上を図る。
- 環境保全活動の目的・目標を定める。
- 環境関連法規法令及び当社に関連するその他の要求事項を遵守する。
- 環境マネジメントの維持向上を図る。
- 環境保全のために地域社会に貢献する。
- 環境理念と基本方針は全社員が周知徹底し、必要に応じて社外にも公表する。

〔 独 自 理 念 〕

理想的なコーティングラインのために

テクノスマートは独自の理念「C-5」を提案します。

当社は最高の品質をお客様にご提供するため、独自の理念「C-5」を掲げ製品開発に取り組んでいます。

これらの理念どれもモノづくりには欠かせないという認識のもと、すべての製品に対しテクノスマートの知恵と情熱が注がれているのです。

- ① クローズドタイプアプリケーションの採用
- ② クリーンルーム対応の設備
- ③ コンパクト設計
- ④ カセットチェンジコーターの採用
- ⑤ コンピューターシステムの導入

スマートフォンやタブレット端末用として光学フィルム関連塗工装置ならびにタッチパネル用塗工装置が伸長。

薄型表示部品関連機器

液晶用表示装置に代表される光学用途フィルム塗工装置および関連する乾燥・熱処理装置。



売上高比率
37.9%

エネルギー関連機器

二次電池用塗工装置および関連する乾燥・熱処理装置。塗工機以外の二次電池用製造装置および関連機器。



売上高比率
8.9%

機能性紙・フィルム関連塗工機器

一般産業資材用の紙・フィルム用塗工装置および関連する乾燥・熱処理装置。



売上高比率
11.6%

化工機器

高機能性繊維・不織布関連の製造装置および乾燥・熱処理装置ならびに関連する付属機器。ポリマー樹脂等化工品の乾燥・熱処理装置。各種エンブラフィルム用製膜関連製造装置。



売上高比率
5.1%

電子部品関連塗工機器

半導体、FPC等電子部品関連用塗工装置および関連する乾燥・熱処理装置。



売上高比率
29.0%

その他

各種関連機器の部品製造ならびに改造・修理。



売上高比率
7.4%

「Techno Smart Series」のご紹介

塗工・乾燥装置を標準化することで製品開発から量産までの期間短縮ができるようになりました。

塗工乾燥装置の標準化「Techno Smart Series」

高精度コーター



高精度モーター、特殊カップリング高精度軸受の採用。

VCDコーター



低速～高速まで幅広い塗工速度範囲に適用。

CEDコーター

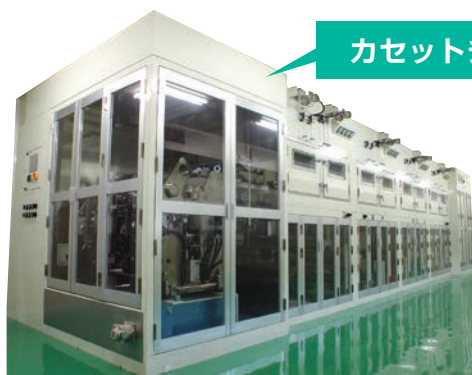


高品位塗工に対応クローズドコーティングシステム。

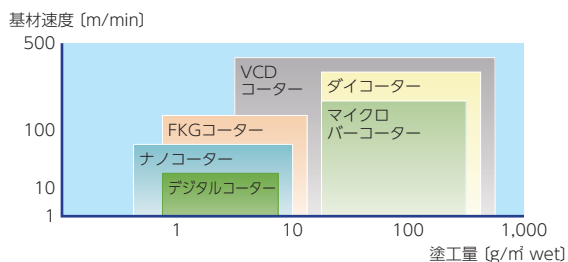
FKGコーター



版目の転写がない。ロール、ドクターブレード交換が容易。



カセットチェンジ方式で容易に塗工方式の変更が可能



ナノコーター



優れた薄膜塗工性能。スジムラがない。容易なロッド交換方式。

多層ダイコーター



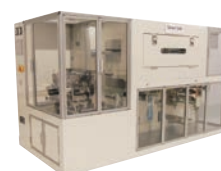
多段化したスロットル構造により単層～多層の同時塗工を実現。

デジタルコーター



WET10 μ m以下の薄膜塗工。複雑な任意パターン塗工。

スマートラボ

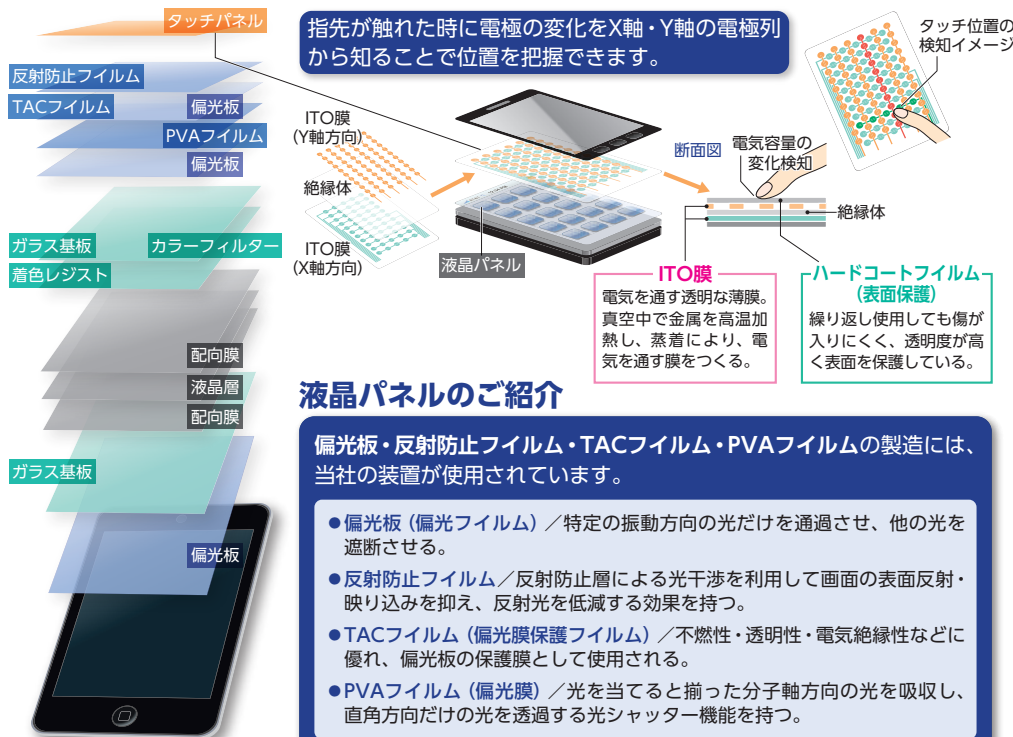


研究、試作用途に対応した設置場所を選ばないコンパクト設計。

タッチパネル、液晶パネル、二次電池のご紹介

タッチパネルのご紹介

ハードコートフィルムの製造には、当社の装置が使用されています。

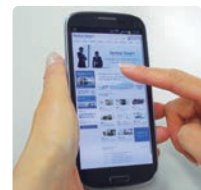


タブレット端末



- ▼使用箇所
- ハードコートフィルム
 - 偏光フィルム
 - 反射防止フィルム

スマートフォン



- ▼使用箇所
- ハードコートフィルム
 - 偏光フィルム
 - 反射防止フィルム
 - フレキシブルプリント基板

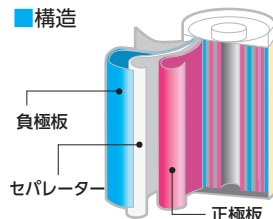
液晶パネルのご紹介

偏光板・反射防止フィルム・TACフィルム・PVAフィルムの製造には、当社の装置が使用されています。

- 偏光板 (偏光フィルム) / 特定の振動方向の光だけを通過させ、他の光を遮断させる。
- 反射防止フィルム / 反射防止層による光干渉を利用して画面の表面反射・映り込みを抑え、反射光を低減する効果を持つ。
- TACフィルム (偏光膜保護フィルム) / 不燃性・透明性・電気絶縁性などに優れ、偏光板の保護膜として使用される。
- PVAフィルム (偏光膜) / 光を当てると揃った分子軸方向の光を吸収し、直角方向だけの光を透過する光シャッター機能を持つ。

二次電池のご紹介

構造



二次電池とは、充電式電池ともいい、電気を蓄えて繰り返し使用することができます。

二次電池

- ▼使用箇所
- 正極板
 - 負極板
 - セパレーター



主な分類

	ニッケル水素電池	リチウム・イオン電池
自然放電	少ない	非常に少ない
エネルギー密度	高い	非常に高い
コスト	安い	高い
主な用途	ハイブリッドカー 電動工具	ハイブリッドカー 電気自動車 パソコン・携帯電話

業績の概況

貸借対照表 (平成27年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	10,882,498
現金及び預金	4,898,875
受取手形及び売掛金	5,718,025
たな卸資産	145,673
その他	119,923
固定資産	4,240,263
有形固定資産	2,935,298
建物	801,908
機械及び装置	230,953
土地	1,836,830
その他	65,606
無形固定資産	7,135
投資その他の資産	1,297,828
投資有価証券	1,109,495
その他	190,633
貸倒引当金	△ 2,300
資産合計	15,122,761

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	3,664,727
支払手形及び買掛金	2,732,091
短期借入金	605,311
未払法人税等	9,194
前受金	109,723
引当金	123,780
その他	84,626
固定負債	1,354,819
長期借入金	324,750
退職給付引当金	495,065
資産除去債務	8,898
その他	526,105
負債合計	5,019,546
純資産の部	
株主資本	8,716,849
資本金	1,003,125
資本剰余金	515,858
利益剰余金	7,307,149
自己株式	△ 109,283
評価・換算差額等	1,386,364
その他有価証券評価差額金	308,016
土地再評価差額金	1,078,348
純資産合計	10,103,214
負債・純資産合計	15,122,761

■損益計算書 (平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
	前 中 間 期		当 中 間 期	
売 上 高	5,574,691	100.0	3,856,113	100.0
売 上 原 価	4,953,755	88.9	3,560,043	92.3
売 上 総 利 益	620,936	11.1	296,069	7.7
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	300,346	5.4	314,007	8.1
営 業 利 益	320,589	5.8	△ 17,938	△ 0.5
営 業 外 収 益	32,175	0.6	23,833	0.6
営 業 外 費 用	6,553	0.1	6,771	0.2
経 常 利 益	346,211	6.2	△ 876	△ 0.0
税 引 前 四 半 期 純 利 益	346,211	6.2	△ 876	△ 0.0
法 人 税 等	131,532	2.4	2,307	0.1
四 半 期 純 利 益	214,679	3.9	△ 3,184	△ 0.1

■キャッシュ・フロー計算書 (平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

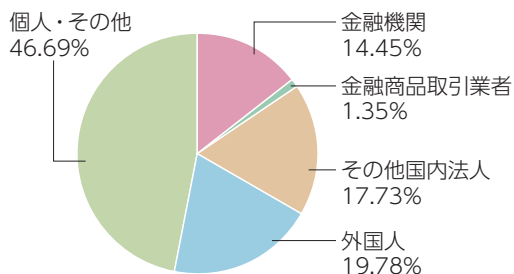
(単位：千円)

科 目	金 額	金 額
	前 中 間 期	当 中 間 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 761,744	2,544,274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,526	△ 8,547
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 280,052	93,882
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,421	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,051,902	2,629,609
現金及び現金同等物の期首残高	5,264,986	2,169,266
現金及び現金同等物の期末残高	4,213,084	4,798,875

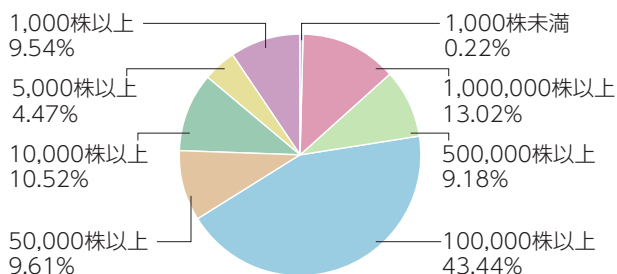
株式の状況 (平成27年9月30日現在)

■発行可能株式総数	25,000,000株
■発行済株式の総数	10,821,720株
■株主数	1,020名

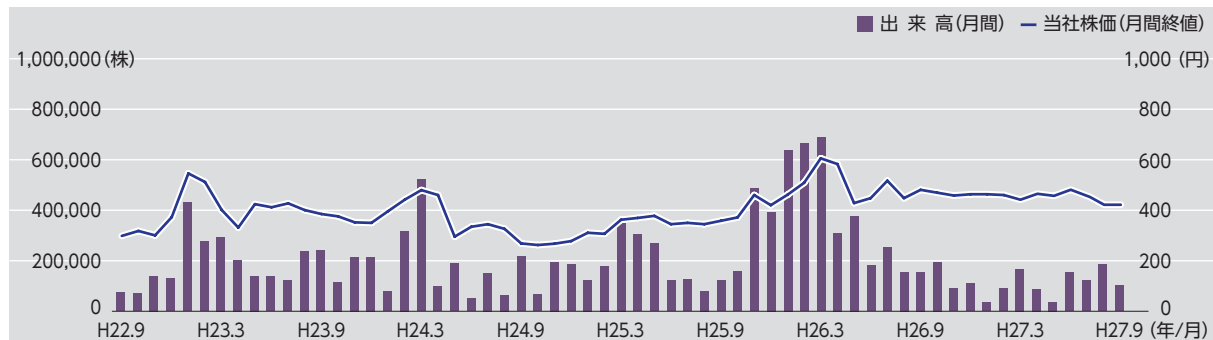
■所有者別株式分布



■所有数別株式分布



■当社株価と出来高



会社概要 (平成27年9月30日現在)

社 名 株式会社テクノスマート
 創 業 1912年6月15日
 資 本 金 10億312万円
 本社所在地 〒541-0056
 大阪市中央区久太郎町二丁目5番28号
 久太郎町恒和ビル2階
 電 話 06-6253-7200 (代)
 従 業 員 数 247名
 上場取引所 東京証券取引所 第2部
 証 券 コー ド 6246
 事 業 所 東京支店 (東京都中央区)
 滋賀工場 (滋賀県野洲市)



■第6回 高機能フィルム展-フィルムテックジャパン-への出展

高機能フィルムの成形・加工技術からフィルムそのものに至るまで、あらゆるフィルム技術の専門展である「第6回 高機能フィルム展-フィルムテックジャパン-」が2015年4月8日(水)から10日(金)までの3日間、東京ビッグサイトで開催され、当社も出展いたしました。当社は、パネル展示を中心に塗工乾燥装置と関連装置のPRを行いましたところ、国内外問わず多数の方が来場され、盛況な展示会となりました。今後もこのような展示会へは積極的に出展し、商機獲得へと発展させていきたいと考えています。



■役員 (平成27年9月30日現在)

代表取締役社長 高 橋 進
 専務取締役 高 橋 史 郎
 取 締 役 杉 野 博 昭
 取 締 役 柳 井 正 巳
 取 締 役 飯 田 陽 弘
 取 締 役 (監査等委員) 桜 井 征三郎
 取 締 役 (監査等委員) 矢井田 修
 取 締 役 (監査等委員) 波多江 嘉 度

■株主・投資家情報サイト

<http://www.technosmart.co.jp/investor>

■トップページ



当社ホームページではIR情報、製品情報など最新の情報がご覧いただけます。どうぞご利用ください。

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 *その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
単元株式数	100株 (注) 平成27年12月1日付で、1,000株から100株に変更いたしました。
公告方法	電子公告により行う 公告掲載アドレス： http://www.technosmart.co.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 (郵便物送付先/各種お問合せ先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料) [受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)] ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に
基づき、より多くの人に見やすく読みまちが
えにくいデザインの文字を採用しています。

